



2025 年 9 月

フードバンクいるま 活動報告

「もったいない」を「ありがとう」へ



【ホームページ】

9月食品寄贈受付実績 2,420.754kg (配布延べ人数 721 人)

9月寄付金・募金合計 ￥128,624 (内ミルク基金￥14,452)

寄付金内訳

(順不同・敬称略)

古美術英	¥20,000
りあな	¥20,000
えれな	¥20,000
入間ガス(株)(ミルク基金)	¥12,520
(医)入間ハート病院	¥10,000
小林 喜代治	¥10,000
石川 玲子	¥10,000
西武狭山グリーンヒル	¥7,380
いわさきいつも祭	¥6,500
岡本 仍子	¥5,000
市役所フードドライブ	¥3,292
市役所フードドライブ(ミルク基金)	¥1,932
高田 雅之	¥2,000

フードドライブ拠点情報

コープみらい武蔵藤沢店	54.60kg
(株)ファミリーマート(11店舗)	53.35kg
ウエルシア薬局(株)(2店舗)	38.45kg
セブンイレブン(12店舗)	37.30kg
明治安田生命	13.35kg
西武狭山グリーンヒル	12.17kg
イオンスタイル入間店(9/20~30)	10.65kg
もみの木接骨院	9.30kg
入間南ロータリークラブ(1か所)	8.70kg
(福)入間市社会福祉協議会	8.50kg
(福)入間福祉会	7.15kg
(有)宮源商店	1.70kg
ホンダカーズ埼玉西 入間支店	1.55kg
(株)いわさき(1店舗)	0.85kg
(福)創和満点工房	0.60kg

主な寄贈団体

生活協同組合コープみらい (株)生活クラブたまご
(株)マルハン入間店 田中畜産
築地本願寺いるま布教所 超法寺
曹洞宗 光昌山 高倉寺

政府米の寄贈

農林水産省 1,020.00 kg

車両の支援団体

(福)創和 GOOD FAITH

記載以外にも日頃多くの団体や個人の方々に
ご支援ご協力をいただいています。



西武狭山グリーンヒルからブルーベリー
8.95Kgをお預かりしました。



【フードドライブ情報】 私たちスタッフが決まった日に直接お預かりします。



入間市役所 9月17日(水) ※毎月第3水曜

食料品 59.50kg 寄付金 ￥3,292 (内ミルク基金¥1,932)



イオンスタイル入間店 9月11日(木) ※毎月11日 食料品 7.90kg



入間市リサイクルプラザ 9月14日(日) ※毎月第2日 食料品 0.40kg

市役所ではなじみの
年配の方が食料品を
持ってきてください
ました。その方とは
しばし世間話に花が
咲きました。

【トピックス】

9月6日(土) いわさきいつも祭フードドライブ

今年もいわさきいつも祭に参加させていただき、フードバンクいるまの活動を知っていただくことができました。
集まった募金はこれからの活動に活用させていただきます。



いわさきいつも祭

社会福祉協議会の「はじめてみよう夏ボラ体験」

今年は一般・学生12名を受け入れました。

〔感想〕

食品をもらって欲しい人と食べ物なくて困っている人をつないで助けることができるボランティアがあることが知れて、時間があるときにそこに行って自分もその人たちの力になりたいと思いました。

☆地区パントリー（金子・東金子・西武・宮寺・二本木地区）

開催日：9月20日（土）
会場：いるまやメモリーホール元加治
世帯数：95世帯
（内別日の受け渡し 14世帯、配達7世帯）
総人数：365人（内子ども 180人）
大人ボランティア：5名



政府備蓄米10kgを食育のチラシと一緒ににお渡ししました。



今回はコストコ、フジパンから大量のパンをいただきましたので、いつもより多くお渡しでき大変喜ばれました。



利用者の声

物価高で困っているのでとても助かります。子どもたちは育ちざかりなのでどんどん食べるので、お米10kgは感謝しています。

フードパントリー活動への協力企業・団体（順不同・敬称略）

総合仏事グループいるまや・コストコホールセールジャパン（株）・フジパン（株）武蔵工場
セカンドハーベストジャパン・埼玉フードパントリーネットワーク
（一社）全国フードバンク推進協議会・生活クラブ生活協同組合入間支部
西武狭山グリーンヒル・いちの会

☆TUNAGU フードパントリー

フードバンクいるまの地区パントリーの一環として TUNAGU が開催されました。

9月7日（日） 長泉寺

27世帯（子ども 55人）

9月7日（日） 向原団地集会所

18世帯（子ども 34人）

ハートフルいるま No.21

【生活クラブ生活協同組合入間支部】

今回は、入間市扇町屋にある生活クラブ生活協同組合入間支部の組合員活動スペース「くらぶルームあいび〜」を訪問し、佐々木様と山下様にお話を伺いました。

フードバンクいるまが立ち上げの検討中でまだメンバーも揃っていない頃からのお付き合いになるそうです。生活クラブでは、その地域に必要な機能を描き、「福祉の自給ネットワークづくり」を目指して「生活クラブの福祉・たすけあい8原則」の理念を定め活動を展開している中で、フードバンクいるまの活動は賛同できると思われたそうです。入間支部の承認を得て、立ち上げ時から法人会員、監事2名の派遣、パントリーへの人的支援、フードドライブの拠点、と幅広く手厚い支援をしてくださっています。さらにコロナ禍では、色々活動が滞る中生活クラブから福祉事業への助成金もいただきました。

そしてその長いお付き合いの中での感想と今後についてのお話をお伺いしたところ、「フードバンクの活動は活発で、地域に密着しながら凄く大きくなっている事に驚いている。活動は発信が大事で、どれだけ賛同者を得られるかも大切だと思う。これからも生活クラブの理念に基づき今までと変わらず、支部として活動を継続していく。執行部をはずれても個人的にフードバンクと係っていいと思っている。」と心強い言葉をいただきました。監事の方の後ろには、地域に密着した助け合い理念の元に多方面に活動する900人を超える組合員の皆様の暖かい支援の気持ちが詰まっていると思うととても嬉しくなりました。私達ももっと頑張らなくては、と思った一時でもありました。これからも、宜しくお願い致します。



佐々木様・山下様